

はじめに

Global + Local = Glocal。Glocal は、2つの言葉を合わせた新しい造語です。日本では、1980年代に海外に進出し、進出先の国や地域に合わせた経営や商品開発をする企業を Glocal 企業と呼んでいたようです。その後、環境問題を考えるときに「Think Globally, Act Locally」という標語が用いられたことで一般に知られるようになりました。

共愛学園前橋国際大学は、おそらく Glocal を日本で初めてコンセプトとした大学ではないかと思います。国際を名前に冠しながら、地域人材を育成するという大学の在り方は、開学（1999年）当時は一般的ではありませんでした。しかし、今では多くの大学がコンセプトに掲げるようになりました。それは、グローバル化する地域社会の中で、国際的な視野をもちながら、地域振興に力を発揮するグローバルリーダーの育成が社会の要請となっていることの証しかもしれません。

本学の教育は、全国の学長の評価ランキングで5位（大学ランキング2018）に位置することが示すように、全国的に注目をされています。それは、これからの予測困難な時代に身に付けるべき力を^{かんよう}涵養するための先端の教育を展開し、大学教育改革の最先端を走っているからだと自負しています。

本書では、本学がどのようにして Glocal というコンセプトを具現化しているのかということ、Glocal 人材育成のための教育プログラムの豊富な実例をもとに紹介しています。そして、それらの学びは、アクティブ・ラーニング、PBL（問題解決学習）、サービス・ラーニングといった大学教育の質転換を形にしたものであり、社会に開かれた教育プログラムの実践例でもあります。

本書をお読みいただく皆さまには、Glocal という今日的なコンセプトの意味と、グローバルな人材の育成の実際をお伝えできるものと思いますし、大学教育改革がこのように進んでいるということもお知りいただけるのではないかと思います。高校生の皆さんであれば、大学選びの際の視点を養っていただけるでしょう。大人の皆さまには、大学の変化を感じ取っていただけるでしょう。地域の皆さまには地域人材育成の手法を参考にさせていただけるかもしれません。本書を手にとってくださったお一人お一人にとって、本書が意義あるものとなることを祈念するとともに、日頃より本学と一体となって学びの構築の主体となってくださっている多くの皆さまに心より感謝を申し上げます。

グローバル力は 鍛錬できる

グローバル人材育成プロジェクト委員会
共愛学園前橋国際大学

Contents

Chapter	I	いま高等教育に求められていること	
		I-1・社会の動きと課題	6
		I-2・課題への挑戦	10
		KYOAI GAKUEN UNIVERSITY HARD DATA	16
Chapter	II	世界基準に向けた大学の国際化 グローバル人材の育成	
		II-1・概要	20
		II-2・語学力UPに向けた取り組み	24
		II-3・社会人基礎力UPに向けた取り組み	28
		II-4・異文化理解を深める取り組み	36
Chapter	III	地域と協働して推進する 地域人材の育成	
		III-1・概要	42
		III-2・企業、自治体、他大学との連携	46
		III-3・地域人材育成プログラム	50
Chapter	IV	「エビデンスベーストの自己評価」 に基づく自律的学修者の育成	
		IV-1・概要	56
		IV-2・学びの質向上と可視化	60